

市長コラム  
「試練を乗り越える」



江藤院長との記念写真

新年度が始まり、新たなスタートを切った矢先、新型コロナウイルス感染症が国内で拡大し、現在も国民に大きな影響を与えています。4月16日には、全国での感染拡大を受け、国は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」の対象地域を全都道府県に拡大することを決定しました。本市においては、感染防止に向け、医療機関などと連携しながら日々、各種情報の収集や周知啓発など対策を行っています。

市民の皆さまに對しましては、日常的な予防である手洗い、マスク着用などの咳エチケットの徹底やいゆる3つの密「密閉・密集・密接」、不要不急の外出を避けるなどの感染予防対策をお願いしているところではあります。今後も継続してご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

4月からはDr.エトーこと、江藤敏治先生が市民病院の院長に就任されました。先生は「市民の皆さまが笑顔で元気に過ごせるよう頑張りたい」とおっしゃっていました。こういう状況だからこそ、市民の皆さまと心をつなげて、笑顔の毎日を取り戻していきたいと思っております。みんなで頑張りましょう。

今月のくしぴ! KUSHIMA しまトピックス TOPICS

4月6日 岬馬の「春駒」すくすくと

都井岬に生息する国の天然記念物である「岬馬」に、今春第1号となる子馬「春駒」が誕生しました。野生馬を管理する都井御崎牧組合の監視員が扇山の斜面で確認しました。生まれた春駒は母馬にぴったりと寄り添いながら歩き、かわいらしい姿を見せていました。今年は6月末ごろまでにおよそ18頭が誕生する見込みです。



母馬に寄り添う春駒



母馬に見守られながらすやすやと眠っています



表彰を受けた生徒たち

3月30日 観光交流館 愛称発案者へ表彰

「串間市都井岬観光交流館」の愛称選定は、福島高校生徒から募集を行い、最終候補に5候補が選ばれ、最終的に「パカラパカ」に決定しました。その発案者および最終候補作発案者、選考に協力した生徒に対して、福島高校で市長より表彰状、感謝状の贈呈が行われました。「パカラパカ」の愛称については、今後本市の情報発信のため広く活用されます。

4月4日 いこいの里営業再開 セレモニー華やかに

「串間温泉いこいの里」の営業再開を記念して、再開初日にセレモニーが開催され、県議会議員や市議会議員、関係者など約30名が参加しました。式典で市長は「観光ルートの確立へ重要な場所であり、地域の活性化に向けて市民と一丸となりたい」とあいさつされました。オープン後には多くの市民が訪れ、入浴したり、回数券を買い求めるなどしていました。



多くのお客さまが訪れました



市長あいさつの様子

4月6日 JF 串間市東、水産庁長官賞受賞

水産庁は、水産業や漁村地域の再生を図るため、漁業者自らが漁業の収入向上とコスト削減の具体的な対策に取り組む「浜の活力再生プラン」を推進しています。串間市東地区地域水産業再生委員会（JF串間市東）は、複合経営による所得向上や地域一体となったブランド化、消費拡大の取り組みなどを実践しています。今回他の地域の模範となる優良な取り組みを表彰する「令和元年度 浜の活力再生プラン優良事表彰」において水産庁長官賞を受賞され、市長へ受賞報告の表敬訪問をされました。



受賞を記念し市長との記念撮影